

特別なニーズを持つ 子どもたちへの理解と支援

全6回シリーズ

毎回、様々なテーマで子どもたちへの具体的な支援の方法を考えます

対象 学校関係者・保護者・教育関係者

費用 各回とも無料(定員:30名)

会場 星槎名古屋キャンパス
名古屋市中村区名駅南1-28-26宇徳ビル2階

NPO法人 星槎教育研究所

【主催】NPO法人 星槎教育研究所 【共催】星槎大学

【後援】愛知県教育委員会・名古屋市教育委員会・テレビ愛知・東海ラジオ

近年、子どもたちの広汎性発達障害(PDD)、注意欠陥多動性障害(AD/HD)、学習障害(LD)などの発達障害が注目されるようになってきました。しかし、理解が少しずつ深まってきたとはいえ、まだまだ誤解や偏見、それに伴う不適切な対応により、不登校の他、様々な二次的な症状を生み出す背景となっています。

この6回シリーズのセミナーでは、発達障害の基礎から専門的な内容についてわかりやすく解説するほか、様々な場面での具体的な対応方法、事例などにも触れながら、特別なニーズを持つ子どもたちへの理解と支援について考えていきます。

全セミナー参加者には星槎大学・NPO星槎教育研究所が修了証を発行します。

2011不登校・発達障害理解セミナー 「特別なニーズを持つ子どもたちへの理解と支援」

第1回 6月25日[土] 13:00~15:00 教育現場でできること～星槎中学校の試み～ 講師：岩澤 一美

通常学級で教育的支援を求めている児童生徒は全体の約6%存在するといわれています。児童生徒のニーズに合わせた支援を標榜する特別支援教育ですが、その対応には発達障害をもつ児童生徒の特性を理解することが必須となります。通常学級の中に多く見られる発達障害を理解するとともに、その支援の実際を紹介します。

第2回 7月30日[土] 13:00~15:00 認知の発達から発達障害を理解する 講師：西永 堅

脳認知科学の発展は、目に見えなかった子どもたちのニーズを見えるようにしてきました。それと同時に教育支援方法も変わってきました。認知発達とは何かを一緒に学んでみませんか？

第3回 9月24日[土] 13:00~15:00 メンタルサポートとソーシャルスキル 講師：安部 雅昭

不登校の子どもたちの心のケアに重点が置かれていますが、登校に向けたソーシャルスキル(社会適応力)を身に付けることも必要となります。一度教室から離れると、戻るときにはかなりの決意が必要です。そのための準備と不登校の予防のためのソーシャルスキルトレーニングについて考えて行きましょう。

第4回 10月22日[土] 13:00~15:00 子どもたちの自己肯定感をあげるかわりとは 講師：三森 睦子

「どうせ・・・」「ムリ・・・」発達障害のあるなしにかかわらず、失敗体験が多く、わかってもらえない悔しさやできなかった悲しさがたまっている子は、自己肯定感が低くなりがちです。日本の青少年は国際比較上も自己肯定感が低いと言われています。「子どもと環境との相互作用」の観点から、どう関われば子どもたちの自己肯定感があがるのか、いっしょに考えましょう。

第5回 11月26日[土] 13:00~15:00 気になる行動をABA(応用行動分析学)で見直そう！ 講師：三田地真実

子ども達の「気になる行動」はどうして起きているのでしょうか？ 行動が起こるからくり(原理)について、心理学の一分野である応用行動分析学(ABA)の視点から見直してみませんか？

第6回 12月23日[祝] 13:00~15:00 WISC検査の見方と活かし方 講師：岩澤 一美

LD等のある子どもたちが示す様々なつまずきの背景を把握するために、「心理アセスメント」が用いられます。その中の代表的な検査であるWISC-IIIを取り上げ、検査結果の見方と実際の教育現場での活用方法について取り上げます。